

平成30年度 高体連弓道専門部 部顧問会議

平成30年4月13日 (金)
岐阜総合学園高等学校 会議室

1 開会挨拶 専門部長 高橋 幸平

専門委員長 今井 誠

2 議題

(1) 平成29年度事業報告他

(2) 平成30年度 高体連弓道専門部組織・役員について

(3) 平成30年度事業計画・運営について

① 各種大会について

大会要項は HP よりダウンロード <http://www.geocities.jp/gifukyudojp/>

(ア) 変更点・留意点について

・個人戦を3人立ち4射場に統一する

・個人戦の競技方法を1回戦4射、2回戦4射の計8射を行い、5中以上が3回戦に進出。3回戦4射を行い1回戦から3回戦までの計12射の総的中で順位を決定する。

(イ) 試合運営等について

② 地区強化練習会、講習会の実施について

③ 選手強化について

④ 国体選手選考方法について

⑤ その他

(4) その他 (連絡報告事項)

① 技能優秀選手・技能優秀校表彰について

② 全国高体連弓道専門部の選手個人登録について

③ 全日本弓道連盟システム登録について

④ 「弓道部活動のしおり No37」について

⑤ 岐阜県弓道連盟と高体連弓道専門部について

⑥ 岐阜県教職員弓道連盟と高校弓道部顧問について

⑦ 顧問の指導力の向上について

⑧ 地方審査について

3 閉会挨拶 専門部長

専門委員長

お願い

顧問会議に先立ち、各大会の立ち順抽選を行います。

抽選をされたら、4ページに番号を転記し、抽選札は学校名を記入後、担当に返却してください。

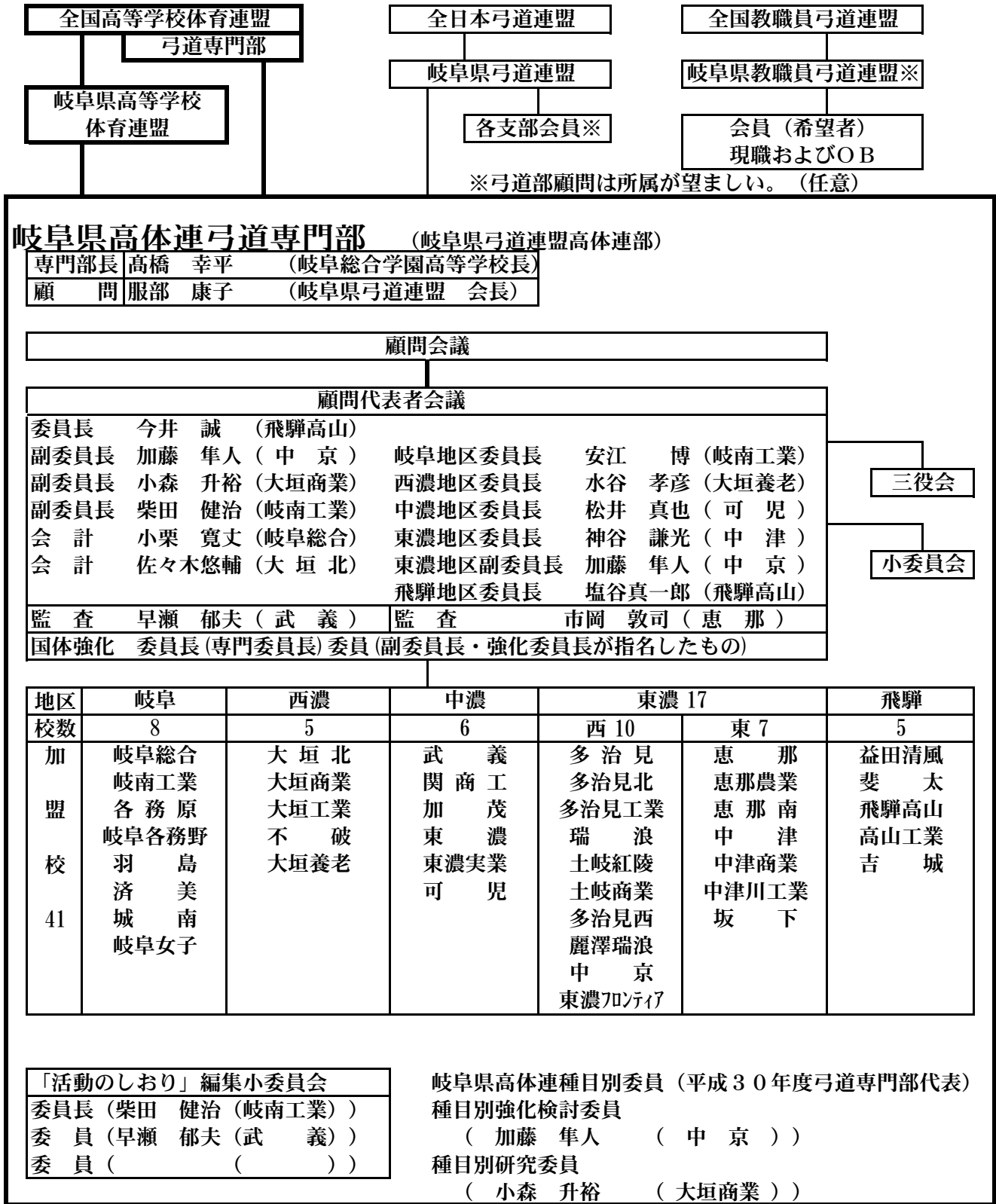
一覧は、ホームページに掲載します。

(1) 平成29年度事業報告一覧

岐阜県高体連弓道専門部

月	日	曜	大会・事業	男子団体	女子団体	男子個人	女子個人
4	14	金	高校弓道部顧問会議	岐阜総合学園高校にて：事業計画、予算などの検討・承認			
	15	土	ぎふスポーツフェア 高校弓道大会 (団体のみ)	1日目 トーナメント制(予選40射)		2日目 総的中制(60射)	
	~16	日		男 1:中津川工業 子 2:伊勢学園 団 3:市立前橋 体 3:大垣工業	女 1:好文学園 子 2:飯田女子 団 3:市立前橋 体 3:中津	男 1:伊勢学園 子 2:市立前橋 団 3:中京 体	女 1:飯田女子 子 2:市立前橋 団 3:豊橋商業 体
5			第65回県高校総合体育大会 兼全国・東海総体県予選	1:関商工 2:中京 3:大垣商業 4:多治見 5:麗澤瑞浪 6:岐南工業 17チーム	1:大垣商業 2:関商工 3:多治見西 4:大垣北 5:岐阜総合学園 6:中津 16チーム	1:岩田(大垣工業) 2:松井(関商工) 3:堀(関商工) 4:岡前(中津) 5:阿部(麗澤瑞浪) 133人	1:三浦(中京) 2:本庄(岐阜総合) 3:西脇(大垣商業) 4:高木(大垣商業) 5:永治(中津) 93人
	14	日	団体予選				
	20	土	団体決勝				
	21	日	個人				
			県大会出場チーム(人数)				
	28	土	全国教職員県予選大会				
6	3	土	国体選手(少年)選考会(一次)				
	17	土	第64回東海高校総合体育大会	大垣商業 第2位 中 京 第3位		岩田(大垣工)5位	高木(大垣商)2位
6	25	日	国体選手(少年)選考会(最終)	男子:森(大垣商業)、平尾(東濃実業)、早川(中京) 女子:篠原(各務原)、河原(大垣北)、田所(大垣商業)			
8	1	火	全国高等学校総合体育大会	関商工	大垣商業	岩田(大垣工業)	三浦(中京)
	~4	金	第62回全国高校弓道大会	ベスト16	ベスト32	予選敗退 松井(関商工)	予選敗退 本庄(岐阜総合)
			各地区強化練習会	各地区ごとに実施			
	20	土	第72回国民体育大会	岐阜県選抜	岐阜県選抜		
	~21	日	第38回東海ブロック大会	総合2位(近2・遠1)	総合3位(近4・遠2)		
9	9	土	第72回国民体育大会	近的 準優勝 遠的 第8位			
	16	土	グローアッププラン (選手強化試合)	1日目 総的中制(予選36射)	2日目 台風のため中止		
	~17	日		男 1:中津川工業 子 2:多治見西 団 3:関商工 体	女 1:土岐商業 子 2:各務原 団 3:中津商業 体		
10	13	金	高体連・県弓連日程調整会議				
			第36回全国高校弓道選抜大会	1:中京 2:大垣商業 3:関商工 4:中津川工業 5:各務原 6:東濃実業 16チーム	1:大垣商業 2:益田清風 3:多治見西 4:岐阜各務野 5:中京 6:土岐商業 21チーム	1:草野(中京) 2:平松(大垣商業) 3:片山(岐南工業) 4:藤塚(大垣北) 5:西田(東濃実業) 6:長島(中京) 104人	1:桐本(中津商業) 2:水川(多治見西) 3:小池(大垣商業) 4:宗野(岐阜各務野) 5:林(関商工) 6:桂川(益田清風) 66人
	28	土	団体予選				
	29	日	個人				
11	4	土	団体決勝				
			県大会出場チーム(人数)				
	18	土	第36回東海高校弓道選抜大会	中京 3位 中津川工業 ^{ベスト} 8 関商工 ^{ベスト} 8	多治見西 優勝 益田清風 3位	長島(中京)優勝 片山(岐南工業)3位	水川(多治見西)4位 宗野(岐阜各務野)5位
12	24	金	第36回全国高校弓道選抜大会	中京	大垣商業	草野(中京)	桐本(中津商業)
	~26	日		ベスト8	予選敗退	技能優秀 平松(大垣商業) 予選敗退	予選敗退 水川(多治見西) 予選敗退
2			県新人大会	1:中京 2:大垣商業 3:東濃実業 3:岐南工業 5:大垣北 5:多治見西 5:関商工 5:各務原 19チーム	1:大垣商業 2:多治見西 3:大垣北 3:岐阜総合学園 5:瑞浪 5:多治見 5:各務原 5:岐阜各務野 16チーム	1:平松(大垣商業) 2:長江(中津川工業) 3:岡本(大垣北) 4:板倉(多治見西) 5:中林(中京)	1:桂川(益田清風) 2:水川(多治見西) 3:西脇(大垣商業) 4:長谷川(恵那農業) 5:国枝(大垣商業)
	10	土	団体戦				
	11	日	個人戦				
			県大会出場チーム(人数)				
	23	金	高体連弓道専門部代表者会議	岐阜総合学園高校にて			
3	17	土	第14回中日本高等学校弓道大会	1日目 トーナメント制(予選40射)		2日目 総的中制(40射)	
	~18	日		1:中京 2:岸和田産業 3:長野吉田 3:多治見西 5:静岡東 5:桂 5:新潟明訓 5:郡山	1:島田商業 2:水口 3:飯田女子 3:成章 5:新潟明訓 5:新津 5:赤穂 5:郡山	1:岸和田産業 2:中京 3:成章 4:日高 5:神戸科学技術 6:長野吉田 7:京都外大西 8:大垣商業	1:島田商業 2:飯田女子 3:成章 4:浪速 5:大垣商業 6:新潟明訓 7:日高 8:亀山

平成30年度岐阜県高体連弓道専門部組織について



- ・ 執行部の世代交代も考慮に入れて、役員を選出する。
 - ・ 副委員長の任務を、おおむね庶務会計(1)、選手強化(1)、競技会運営(1)に分担する。
 - ・ 岐阜県教職員弓道連盟 会長 早瀬郁夫(武義) 代表幹事 日比野恭一(斐太)
 - ・ 岐 阜 県 弓 道 連 盟 副理事長・専門部長 （ 今井 誠 ） →会長指名により
同 常任理事 （ 早瀬 郁夫 ）
- 審査等の受審については、各個人で県弓連各支部への登録を行ってください。

平成30年度事業計画一覧

岐阜県高体連弓道専門部

月	日	曜	大会・事業			
4	13	金	高校弓道部顧問会議	会場：岐阜総合学園高校		
	14 ～15	土 日	ぎふスポーツフェア 高校弓道大会	選抜大会上位6校、新人戦上位8校、補助員要請校および近県強豪校 1チーム5名		
5			第65回県高校総合体育大会 兼全国・東海総体県予選	地区予選通過基準	団体：40射 男18中、女15中以上 個人： 8射 男 4中、女 4中以上	団体1 位：全国総体出場 1～4位：東海総体出場
	19	土	団体予選	1チーム5名補欠2名、40射的中制、ベスト6選出		個人1～2位：全国総体出場
	20	日	個人	男女とも 1, 2回戦計8射5中以上通過、12射総的中制		1～5位：東海総体出場
	26	土	団体決勝	6チームのリーグ戦		
6	2	土	全国教職員県予選大会			
	16 ～17	土 日	第65回東海高校総合体育大会	団体 予選：40射的中制 決勝：8チームのトーナメント 個人 予選：8射6中以上が通過 決勝：射詰		
	23	土	国体選手(少年)選考会(一次)	近的：16射	前年度新人戦上位8校の団体登録選手または個人準決勝進出選手 県高校総体上位6校の団体登録選手または個人準決勝進出選手 地区委員長推薦選手	
7	14・15・21	土・日	国体強化練習会			
	22	日	国体選手(少年)選考会(最終)	近的：12射 遠的：12射		
	28	土	岐阜県高校顧問研修会			
8	2 ～5	木 日	全国高等学校総合体育大会 第63回全国高校弓道大会	団体 予選：20射的中制 決勝：32チームのトーナメント 個人 予選：4射3中以上が通過 準決勝：4射3中以上が通過 決勝：射詰		
	18 ～19	土 日	第73回国民体育大会 第39回東海ブロック大会	1チーム3名 総合順位得点制(遠的：得点制 近的：的中制)	1～2位県は本大会出場	
			各地区強化練習会	各地区ごとに実施		
9	22 ～23	土 日	グローアッププラン (選手強化試合)	1チーム3名 県下全高校に出場権あり(県外招聘校なし)		
	30	日	第73回国民体育大会	近的 予選：24射的中制 決勝：8チームのトーナメント 遠的 予選：24射得点制 決勝：8チームのトーナメント		
10	～3	水				
	12	金	高体連弓道専門部代表者会議			
			第36回全国高校弓道選抜大会 県予選	地区予選通過基準	団体：36射 男17中、女14中以上 個人：12射 男 6中、女 6中以上	団体1位：全国選拔出場 1～4位：東海選拔出場
	27	土	団体予選	1チーム3名補欠1名、36射的中制、ベスト6選出		個人1～2位：全国選拔出場
	28	日	個人	男女とも 1, 2回戦計8射5中以上通過、12射総的中制		1～6位：東海選拔出場
11	3	土	団体決勝	6チームの総的中制(60射)		
	23 ～24	金 土	第36回東海高校弓道選抜大会	団体 予選：24射的中制 決勝：8チームのトーナメント 個人 予選：8射男子6中以上女子5中以上が通過 決勝：射詰		
12	24 ～26	月 水	第37回全国高校弓道選抜大会	団体 予選：12射的中制 決勝：16チームのトーナメント 個人 予選：4射3中以上が通過 準決勝：4射3中以上が通過 決勝：射詰		
2			県新人大会	地区予選通過基準	団体：40射 男17中、女14中以上 個人： 8射 男 4中、女 4中以上	
	9	土	団体戦	1チーム5名補欠2名、予選：40射的中制、決勝：8チームのトーナメント		
	10	日	個人戦	男女とも 1, 2回戦計8射5中以上通過、12射総的中制		
	22	金	高体連弓道専門部代表者会議			
3	16 ～17	土 日	第15回中日本高等学校弓道大会	新人戦上位10校、補助員要請校および中日本地区の各県代表校		

(3) 平成30年度事業計画・運営について

① 各種大会について

(ア) 変更点・留意点

- 各大会
- ・個人戦を3人立ち4射場に統一する
 - ・個人戦の競技方法を1回戦4射、2回戦4射の計8射を行い、5中以上が3回戦に進出。3回戦4射を行い1回戦から3回戦までの計12射の総的中で順位を決定する。
 - ・8寸的による射詰めは行わない。

(イ) 試合運営等

前年度を踏襲する。

顧問会議にて、下記大会の立順抽選を行う。

県大会に出場するチームの立ち順は、抽選番号の若い順とする。

県総体兼全国総体予選		全国選抜大会県予選		県新人大会	
男	女	男	女	男	女

(ウ) その他

(a) 大会参加申込について

★大会要項・各種書式について

郵送による送付はしません。

高体連弓道専門部ホームページから最新版をダウンロードしてください。

URL <http://www.geocities.jp/gifukyudojp/>

★申込書の提出先 すべて下記に統一する。

宛先 〒506-0052 岐阜県高山市岡本町2000-30

飛騨高山高校内 今井 誠

メール p23633@gifu-net.ed.jp

電子メールでエクセルファイル(データ)を送る。(立順が決まったらメールで返信します)

(b) 各種大会の役員、補助員、会場準備について(例年通り)

★引率について

大会運営に差し支えるので、顧問引率をできるだけ2名で行ってください。

2名以上の引率の費用が出ない場合は、県弓連規定の旅費を支給します。申し出てください。

男女の参加チームがある場合は男女各1名、計2名の引率を原則とします。

★役員

・審判 県弓道連盟に依頼する。

・競技役員は、引率顧問全員で兼務する。

・任務配置は、プログラム作成者が決定する。

各係の責任者は、執行部役員があたり、進行係は主に地区委員長が担当する。

・主催者または主管者が依頼した競技役員の旅費日当は、県弓連旅費規定または県高体連旅費規定により支払う。(審判も同じ)

★補助員(競技役員補助として)

・要項記載のとおり出場校に依頼する。

依頼人数分の飲食物を支給する

メモリアルセンターの場合、開場8:20 補助員集合を9:30とする。

★会場準備; 当日朝の会場準備を、8:20~8:50に到着校に依頼する。

前日の会場準備は必要な場合のみに行う。

② 地区強化練習会、講習会の実施について

主 催 高体連弓道専門部とする。

地区分け 6 地区

期 日 月 日 (夏休み中が望ましい)

会 場 地区専門部で確保

費 用 地区強化費より支出

参加制限 地区の事情にあわせて設定する

目 的 ①地区内の競技力の向上を図る。

②地区内の体配等の向上を図る。(審査等、学校間の格差をなくす)

要 項 地区委員長が作成し、各校に配布

内 容 地区に一任

指 導 者 地区に一任

③ 選手強化について

(ア) スポーツフェア (選抜上位 6 校、新人戦上位 8 校) 担当：加藤

・要項は、該当校に送付。

・ただし、円滑な大会運営のため、補助員要請校の参加を認める。

(イ) グローアップ (弓道部がある県下全ての高校) 担当：加藤

(ウ) 中日本大会 (新人戦上位 10 校) 担当：小森

・試合形式 5 人立

・運営方法、役員、補助員、費用などについては、前年度とおり

(競技役員を参加校顧問及び西濃・岐阜・中濃地区の部顧問に依頼)

・要項は、該当校に送付。

・ただし、円滑な大会運営のため、補助員要請校の参加を認める。

④ 国体選手選考方法について

(ア) 強化委員会

委 員 長 今井 誠

副委員長 加藤隼人

委 員 小森升裕、柴田健治、委員長が指名したもの

(イ) 国体選手の選考方法について

第一次 出場資格 下記①～⑤のいずれかに該当する者

①平成 29 年度新人戦団体トーナメントに進出したチームの登録者

②平成 29 年度新人戦個人準決勝に進出した者

③平成 30 年度県総体団体決勝リーグに進出したチームの登録者

④平成 30 年度県総体個人準決勝に進出した者

⑤地区委員長から推薦のあった者

近似的 16 射で、上位 12 名程度を選出

最 終 二次通過者より、選手 3 名を決定する。

監督は、有資格者(スポーツ指導員等)であること(一般の方に委任も可)。

選手所属校の顧問は強化事業へのご協力をお願いします。

(4) その他 (報告連絡事項)

① 技能優秀選手・技能優秀校表彰について(県弓連表彰)

県大会での上位者、上位校に対し、執行部による推薦。

② 全国高体連弓道専門部の選手個人登録について

登録料は不要。選手登録が無いと、全国高校総体、全国選抜大会には出場できない。

③ 全日本弓道連盟システム登録について

県弓連登録＝全日本弓道連盟登録 となり、段級位審査の受審資格となります。

(ア) 平成26年度より、IDを所有する者(全日本弓道連盟登録者)は会費を納入することとなります。高校生については、今まで通りですが、休会等の処理をしっかりと行います。

(イ) IDの扱いは以下の通りです。

- ・一般も高校もIDについては共通です。
- ・ID登録は、入部時に行います。途中入部も同様です。
- ・すでに審査等を受けている者はIDを所有しています。
また、スポーツ少年団などで行っていた生徒も同様です。
IDが重複しますので、必ず確認してください。
- ・卒業時に、ID登録を休止とします。退部の場合も同様です。
- ・卒業後も大学、一般等で活動する場合。登録内容の変更を所属団体で行わせてください。
- ・休止は、弓道の活動を今後再開したい場合に選択します。再開には、関係団体への登録が必要です。
その際、ID番号を申し出ること、IDが復活します。IDが不明の場合は、専門部のホームページへメールして確認するようにしてください。

(ウ) ID登録は、部員登録によって担当者が登録を行います。(エクセルファイルでの提出をお願いします)

(エ) IDカードの発行は行いません。

一般的な書式が、登録ファイルにつけてあります。必要に応じて、利用してください。

④ 「弓道部活動のしおり No.37」 5月下旬までに、配布予定。

⑤ 岐阜県弓道連盟と高体連弓道専門部について

(ア) 高体連弓道専門部は、岐阜県弓道連盟高体連部を構成する。(県弓道連盟規約第15条)

(イ) 各高校弓道部は、岐阜県弓道連盟の支部に準じた扱いになっている。(同第5条3)

(ウ) 高校弓道部員(生徒)の県弓道連盟への登録および会費の納入は、高体連弓道専門部をとおして行う。(同第24条(2))

(エ) 高体連弓道専門部を代表して、2名が県弓道連盟役員となっている。(同第9条2,10(2)イ)
高体連部長・副理事長 今井 誠 会長指名役員(高体連部委員長)
常任理事 早瀬 郁夫 会長指名役員(高体連部事務局)

(オ) 県弓道連盟会員登録を希望する弓道部顧問は、県弓道連盟各支部をとおして各自で登録する。
会員登録がないと、審査が受けられません。

支部は、各市町村に置かれている。全日本弓道連盟の会費、県弓道連盟会費が必要です。

このほかに支部会費が必要となります。

できるかぎり、登録をしていただきたいとの要請が県弓連からあった。

なお、県弓道連盟会費の納入がないと、審査の受審資格はありませんので、支部を通して納入してください。(支部会費の扱いは、支部ごとに異なります)

単純に、顧問は一般扱いということで、会費等の優遇措置はありません。

◎ 現在、監査(早瀬：武義高校)が、県弓連との連携を担当しているので、審査関係、登録関係、一般での活動、講師の派遣など、不明な場合は問い合わせてください。

⑥ 岐阜県教職員弓道連盟と高校弓道部顧問について

- ア 岐阜県教職員弓道連盟は、研修会および全国教員大会への選手派遣を主な事業としている。
- イ 岐阜県教職員弓道連盟の会員登録は、本人の意思にもとづいて行う。年会費が必要。

顧問の先生は云うに及ばず、弓道を趣味でされている教師の方も含め活動を行っています。講習会や、全日本教職員弓道大会への参加や、勤労者弓道大会への参加も行っています。弓道をこれから始めようと思われる方も大歓迎です。斐太高校、日比野先生までご連絡をお願いします。

⑦ 顧問の指導力の向上

(ア) 顧問研修会への参加

7月28日(土)顧問研修会(高体連弓道専門部主催)に、参加してください。
県弓連より、講師をお願いします。主に生徒の審査対応。
技術指導、情報交換を行います。新たに顧問になられた先生は、参加して下さい。
今年度は、実技指導も含めて行います。
任意ですが、教職員弓道連盟(6月2日(土))の研修会も参加にしてください。

(イ) 中日本学校指導者講習会への参加

(ウ) 全国弓道指導者研修会への参加 日本館武道館研修センター(千葉県勝浦市)で実施。

(エ) 県弓道連盟主催の講習会への積極的参加

⑧ 地方審査について

- ・ 申込み期日は、審査の20日前です。
「活動のしおり」の締切日は、20日以前の金曜日を指定してあります。
- ・ どのようなスタンスで、受審させるのか。
専門部としては、審査については、
「個人の資格として受審」「引率は不要」と考えております。
顧問の考え方にもよりますが、適宜、受審させていただくのが望ましいです。
しかし、費用がかかりますので、部活動の運営上どうすべきか、適宜判断してください。
- ・ 審査の要領を、確実に指導してください。
要領については、丁寧に行い、身につけさせることが重要です。顧問で指導が無理ならば、
県弓連への講師派遣を依頼してください。
常勤講師、非常勤講師以外にも、単発の指導に来ていただくように県弓連に要請ができます。
審査等の前に活用してください。
希望される場合は、早瀬か、県弓連理事長にお問い合わせください。
- ・ 要望